

法学部法律学科

2026年度法学部入学試験の概要説明



〔目次〕

1. アドミッション・ポリシーの概要
2. 募集人員
3. 総合型選抜（ゼミナール方式）
4. 総合型選抜（スポーツ実績、芸術・文化実績方式）
5. 学校推薦型選抜〔専願〕（公募・英語方式）
6. 学校推薦型選抜〔専願〕（公募・小論文方式）
7. 学校推薦型選抜〔併願〕（公募）
8. 学校推薦型選抜（指定校）
9. 一般選抜（前期）
10. 一般選抜（後期）
11. 共通テスト利用選抜（前期）
12. 共通テスト利用選抜（後期）

1. アドミッション・ポリシーの概要

求める学生像

広島修道大学の建学精神・教育理念を理解し、基礎的な学習能力を備え、
かつ、自己の進路について明確な目標を持つよう模索し続ける学生

知識・技能

国語・数学・英語・歴史などの教科に関する知識・技能を有する学生

思考力・判断力・表現力

情報収集できる学生、多様な考え方を理解するとともに、自分の意見を決定できる学生、文章や議論の中で自分の意見を積極的に表現できる学生

主体性等

将来の進路について明確な目標を持つよう模索し、主体的に学ぶことのできる学生

2. 募集人員

学部	学科	一般		共通テスト 利用		総合型	学校推薦型			合計
		前期 日程	後期 日程	前期 日程	後期 日程		公募 〔専願〕	公募 〔併願〕	指定校 ・ 附属校	
法学部	法律 学科	75名	8名	15名	2名	ゼミナール方式 15名	英語方式 5名	15名	40名	195名
						スポーツ実績方式 芸術・文化実績方式 5名	小論文方式 15名			
	合計	75名	8名	15名	2名	20名	20名	15名	40名	195名

3. 総合型選抜（ゼミナール方式）

〔出願資格〕 法学部法律学科入学を強く希望し、合格した場合には入学する意思を明確にもち（**専願**）、評定平均値**3.5以上**など（* **自己推薦**で受験可）

〔出願書類〕 **ゼミナール報告要旨**（課題について参考文献などに基づいて研究し、自己の見解をまとめたもの。パソコン使用可）、**志望理由書**（800字程度）など。

〔試験内容〕 課題について、教員の司会進行による**ゼミナール**

①「ゼミナール報告要旨」に基づいて、自己の見解を**1人5分間ずつ説明**

② **45分間程度の集団討論**（他の受験生からの質問に対する応答、他の受験生への質問など）

*配布された「ゼミナール報告要旨」のコピーや、その他の参考文献（ノート、インターネットからプリントアウトした資料、辞書など）は参照可能 ⇨ **電子機器（パソコン・スマートフォン・電子辞書など）は参照不可**

*本学の入試情報サイトの特設ページに法学部法律学科総合型選抜（ゼミナール方式）の概要説明、ゼミナール報告要旨（例）がありますので、是非参照・活用してください。

〔配点〕 **ゼミナール（自己の見解説明 + 集団討論） = 100点満点**

〔評価基準〕 集団討論への参加の積極性、質問に対する的確な応答、発言の一貫性・論理性などを評価

3. 総合型選抜（ゼミナール方式）

重要!

〔2026年度課題〕 我が国における原子力発電所を廃止すべきだと思いますか。
原子力発電のメリットとデメリットを検討した上で、あなたの考えをまとめてみましょう。

＊参考文献

〔必読文献〕

- ・ 楠美順理『はじめての原発ガイドブック—賛成・反対を考えるための9つの論点—（改訂版）』（創成社、2019年）

〔その他の文献〕

必読文献以外に、高校の政治・経済の教科書やニュース記事など、様々な資料を各自で調べてみてください。
以下の文献はあくまでも例示です。

- ・ 池上彰『池上彰の講義の時間 高校生からわかる原子力』（集英社、2017年）
- ・ 海外電力調査会『みんなの知らない世界の原子力』（日本電気協会新聞部、2017年）

4. 総合型選抜（スポーツ実績、芸術・文化実績方式）

〔出願資格〕 ゼミナール方式と同様の資格のほか、学校の公認部活動団体のスポーツ活動、芸術・文化活動における優秀な実績（*出願希望の活動が選考対象に該当するか否かについては、2025年9月8日（月）までに本学入学センターへ問い合わせてください）

〔出願書類〕 活動報告書（顧問の先生等の署名・捺印）、活動実績を証明する資料（賞状のコピーなど）、社会問題についての小論文（800字程度）、志望理由書（800字程度）など
*注意:小論文のテーマはご自身で考え、決めてください。

〔試験内容〕 活動報告書の評価、社会問題についての小論文・志望理由書・活動報告書などの出願書類に基づく個別面接
*試験当日、配布された「社会問題についての小論文」のコピーを参照することが可能です。

〔配点〕 活動報告書（50点） + 社会問題についての小論文・個別面接（50点） = 100点満点

〔評価基準〕 大会等での成績はもちろん、日ごろの練習への取り組みも評価の対象となります。個別面接では、質問に対する応答の的確性、発言の積極性・論理性等を評価します。

5. 学校推薦型選抜〔専願〕（公募・英語方式）

〔出願資格〕 法学部法律学科入学を強く希望し、合格した場合には入学する意思が明確であり（**専願**）、**出身学校長の推薦**、**評定平均値が3.5以上**など

〔出願書類〕 出身学校長の**推薦書**、**志望理由書**（800字程度）など

〔試験内容〕 **記述試験（英語）**＋志望理由書等の出願書類に基づく**個別面接**

＊出題範囲：英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ
論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ

＊過去の問題の郵送を、入学センターに請求することができます（入試説明会・オープンキャンパスの法学部のブースでも入手可能）。

＊志望理由書に関する注意：これまでの学校での授業を通して学び考えたこと、課外活動・ボランティア活動を体験して考えたこと、留学経験を通して考えたこと、将来の進路について考えること等を関連させながら、法律学科を志望する理由を説明してください。

〔配点〕 **英語（100点）**＋**個別面接（30点）**＝**130点満点**

6. 学校推薦型選抜〔専願〕（公募・小論文方式）

〔出願資格〕 法学部法律学科入学を強く希望し、合格した場合には入学する意思が明確であり（**専願**）、**出身学校長の推薦、評定平均値が3.5以上**など

〔出願書類〕 出身学校長の**推薦書**、**志望理由書**（800字程度）など

〔試験内容〕 **資料小論文試験（読解・要約・論述問題）**＋志望理由書等の出願書類に基づく**個別面接**

＊過去の問題の郵送を入学センターに請求することができます（入試説明会・オープンキャンパスの法学部のブースでも入手可能）。

〔配点〕 **資料小論文試験（100点）**＋**個別面接（30点）**＝**130点満点**

〔2026年度課題〕 **罪を犯した人の更生とケア**

＊参考文献

- ①藤原正範『罪を犯した人々を支える―刑事司法と福祉のはざままで』（岩波書店、2024年）
- ②阿部恭子『加害者家族を支援する 支援の網の目からこぼれる人々』（岩波書店、2020年）

重要!

7. 学校推薦型選抜〔併願〕（公募）

〔特徴〕 他大学との併願が可能

＊**注意**：本学の公募・併願内で出願できる学科は「1学科」のみ（**複数の学科の併願は不可**）。

〔出願資格〕 出身学校長の推薦など

〔出願書類〕 出身学校長の推薦書など

〔試験内容〕 2科目受験（英語 + 国語）

＊英語は、同じ試験日・試験時間で実施する「学校推薦型〔専願〕（公募・英語方式）」の英語と同じ問題

〔配点〕 英語100点 + 国語100点 = 200点満点

8. 学校推薦型選抜（指定校）

詳細は、それぞれの学校で「2026年度学校推薦型選抜（指定校）要項」を確認してください。

9. 一般選抜（前期）

〔3つの方式〕 **スタンダード方式／高得点科目重視方式／共通テストプラス方式**

＊A・B・C日程それぞれにつき、3つの方式で一般選抜（前期）を実施

〔スタンダード方式〕 3科目受験（英語＋国語＋選択科目）

配点：英語100点＋国語100点＋選択科目100点＝300点満点

＊法学部法律学科は英語の配点が「100点」のパターン

＊選択科目：世界史、日本史、地理、政治・経済、数学、化学・生物、生物

〔高得点科目重視方式〕 **注意**：スタンダード方式での3科目受験が必須

配点：英語100点・国語100点・選択科目100点のうち高得点の2科目＝200点満点

〔共通テストプラス方式〕 **注意**：スタンダード方式での3科目受験が必須

配点：スタンダード方式の高得点の2科目＋共通テストの高得点の2科目＝400点満点

＊**みなし得点**：英語資格（英検など）の検定試験で基準を満たせば、英語の得点の「8割～満点」に換算する制度

例）英検2級 → 「8割」に換算／英検準1級以上 → 「満点」に換算（詳しくは入試要項を参照して下さい）

10. 一般選抜（後期）

〔配点〕 英語100点 + 国語100点（+ 主体性評価として0点／1点／2点） = 200点（+ 0点／1点／2点）
＊一般選抜（後期）では英語と国語の合計点に、調査書を資料とした評価（主体性評価）を加味します。

〔主体性評価〕 筆記試験における合否ラインの得点帯の受験生については、調査書に記載される主体性に関する情報を評価して、筆記試験の得点に加点したうえで合否判定します。加点する点数は、0点／1点／2点の三段階です。

＊調査書の記載事項

：総合的な学習の時間の内容・評価、特別活動の記録（生徒会、学校行事の活動）、指導上参考となる諸事項（学習における特徴など、行動の特徴、特技など、部活動、ボランティア活動、留学・海外経験など、取得資格・検定、表彰・顕彰などの記録）など

ⅠⅠ. 共通テスト利用選抜（前期）

〔試験内容〕 外国語（必須）＋ 国語（必須）＋ 選択科目（1科目）

＊外国語：英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語

＊選択科目を2科目以上受験していた場合は、**最高得点科目の得点**を合否判定に使用します。

〔配点〕 **外国語200点** ＋ **国語200点** ＋ **選択科目100点** ＝ **500点満点**

〔英語の配点〕 英語：リーディング100点 ＋ リスニング100点 ＝ 200点満点

＊みなし得点：一般選抜（前期）の共通テストプラス方式における「みなし得点」と同様

＊合否判定には、「共通テストの英語の得点」と「みなし得点」の**いずれか高い方の得点**を使用します。

＊英語の資格検定を利用する場合、**共通テストの英語受験は「任意」とします**。共通テストの英語を受験しない場合は、「みなし得点」を合否判定に使用します。

Ⅱ. 共通テスト利用選抜（後期）

〔試験内容〕 外国語（必須）＋ 国語・選択科目（1科目）

＊外国語：英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語

＊選択科目を2科目以上受験していた場合は、**最高得点科目の得点**を合否判定に使用します。

〔配点〕 **外国語200点** ＋ 国語・選択科目**200点** ＝ **400点満点**

＊100点の科目は「200点」に換算

〔英語の配点〕 英語：リーディング100点 ＋ リスニング100点 ＝ 200点満点

＊みなし得点：一般選抜（前期）の共通テストプラス方式における「みなし得点」と同様

＊合否判定には、「共通テストの英語の得点」と「みなし得点」の**いずれか高い方の得点**を使用します。

＊英語の資格検定を利用する場合、**共通テストの英語受験は「任意」とします**。共通テストの英語を受験しない場合は、「みなし得点」を合否判定に使用します。